

佐賀労働局発表
令和5年6月16日

【照会先】

佐賀労働局 労働基準部 健康安全課
課長 貞木 竜成
安全専門官 小宮 隆寛
電話 0952 (32) 7176 (直通)

全国安全週間に当たり、 佐賀労働局長による安全パトロールを実施します

佐賀労働局（局長 重河真弓）では、全国安全週間期間中の7月5日に、労働局長による工場現場の安全パトロールを下記のとおり行います。

個々の事業場においても、経営トップは安全についての所信を明らかにするとともに、自らが率先して職場の安全パトロールを行うなど、この週間を契機として、経営トップ主導の下、労働災害の根絶に向けた取組が望まれます。

《佐賀労働局長工場現場安全パトロール》

日時： 令和5年7月5日（水） 13:30～15:00

（雨天決行、但し台風等の場合は中止）

事業場名： 株式会社ミゾタ 製造本部（資料1参照）

場所： 佐賀県佐賀市高木瀬西6丁目2番6号

製造品目： ポンプ、水門等

実施者： 佐賀労働局長ほか



当日、取材同行を希望される報道機関の方は、準備の都合がございますので、7月4日（火）12:00までに、佐賀労働局健康安全課（電話 0952-32-7176 担当小宮）あてご連絡をお願いします。

集合は、事業場敷地内の駐車場（資料2参照）に、13:25までをお願いします。（事務所会議室にご案内いたします）

《全国安全週間について》

全国安全週間は、

『高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場』

を今年度のスローガンとして、7月1日から7日まで実施されます。（準備期間は、6月1日から6月30日まで）

佐賀労働局においては、「令和5年度安全週間佐賀労働局長メッセージ」を発信しています。（資料3参照）

(参考1) 令和5年5月26日報道発表(佐賀労働局HP)
「『第96回 全国安全週間』を7月に実施します」



(参考2) 令和5年5月15日報道記者発表(佐賀労働局HP)
「令和4年(2022年)県内の労働災害の発生状況」



(参考3) 佐賀労働局公表(佐賀労働局HP)
「労働災害発生状況(佐賀県)」



(参考4) 株式会社ミゾタHP



製造本部全景



■ 製造本部概要

社員数 124名
敷地面積 35,940㎡
建物面積 17,925㎡

■ 川副工場概要

敷地面積 46,219㎡
建物面積 5,513㎡



株式会社 **ミゾタ**

製造本部 〒849-0912 佐賀市高木瀬西6丁目2-6
TEL 0952-31-2256 FAX 0952-31-4669
川副工場 〒840-2204 佐賀市川副町西古賀47-1
TEL 0952-34-7203 FAX 0952-34-7208

URL <https://www.mizota.co.jp/>



資料1

工場案内



株式会社 **ミゾタ** 製造本部



▲ 第1ポンプ試験水槽



▲ 水門 (RG)

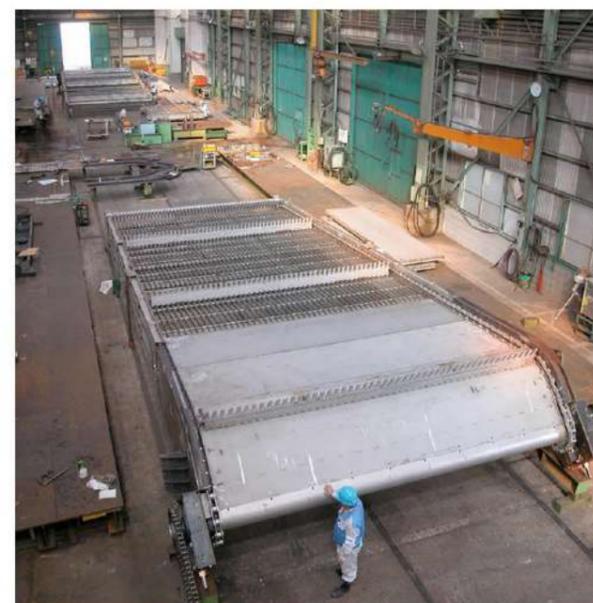
機械設備			
名称	能力	台数	数
五面加工機	2,500×4,800 18.5W	1台	
NC正面旋盤	振2,200×芯間4,000	1台	
CNC複合旋盤	振620×芯間1,250	1台	
ターニングセンター	φ3,000×2,000	1台	
ターニングセンター	φ1,200×1,080	1台	
長軸旋盤	振1,000×芯間5,000	1台	
長軸旋盤	振620×芯間6,000	1台	
普通旋盤	振650×芯間1,500他	4台	
横型マシニングセンター	800×800	1台	
横型マシニングセンター	630×630	1台	
立型マシニングセンター	630×1,200	1台	
ドリルセンター	630×3,000	1台	
ドリルセンター	630×4,000	1台	
ガータードリル	幅4,000×高500	1台	
ラジアルボール盤	2,000×5.5kW	1台	
CNCフライス旋盤	1,300×505	1台	
CNC横中ぐり盤	φ130×3,000×2,540×1,500	1台	



▲ セクターゲート製作風景



▲ NC正面旋盤



▲ 除塵機

検査設備			
名称	能力	台数	数
ポンプ試験設備	ポンプ口径最大φ1,800mm	各1槽	
	第1ポンプ口径最大φ900mm		
	ポンプ口径最大φ500mm		
ポンプ試験設備	第2ポンプ口径最大φ1,350mm	1槽	
	第3ポンプ口径最大φ500mm	1槽	
動釣合試験機	最大測定外形φ1,000mm	1台	
動釣合試験機	最大測定外形φ2,500mm	1台	
開閉機荷重試験設備	最大荷重20t×幅7m	1台	
開閉機負荷試験設備	油圧式	1台	



▲ ターニングセンター



▲ 五面加工機



▲ CNC横中ぐり盤

製缶設備			
名称	能力	台数	数
帯鋸盤	650、450、300	3台	
ターニングロール	10t	1台	
シャーリング	2,530×13×18.5kW	1台	
プレス	350t	1台	
アイアンワーカー	60t	1台	
プラズマ切断機	120A×200V他	3台	

運搬設備			
名称	能力	台数	数
天井走行クレーン	40t/20t、20t/8t、7.5t/2.8t	54基	
室外橋型クレーン	10t/5t~2.8t	7基	
フォークリフト	2t~4t	6台	

塗装・酸洗設備			
名称	能力	台数	数
ショットブラスト装置	75kW	1基	
酸洗設備	酸洗槽寸法 15m×10m	1式	
	PH処理槽15m ³ /日		

環境改善設備			
名称	能力	台数	数
排水処理設備	最大15m ³ /日	1基	

川副事業所案内



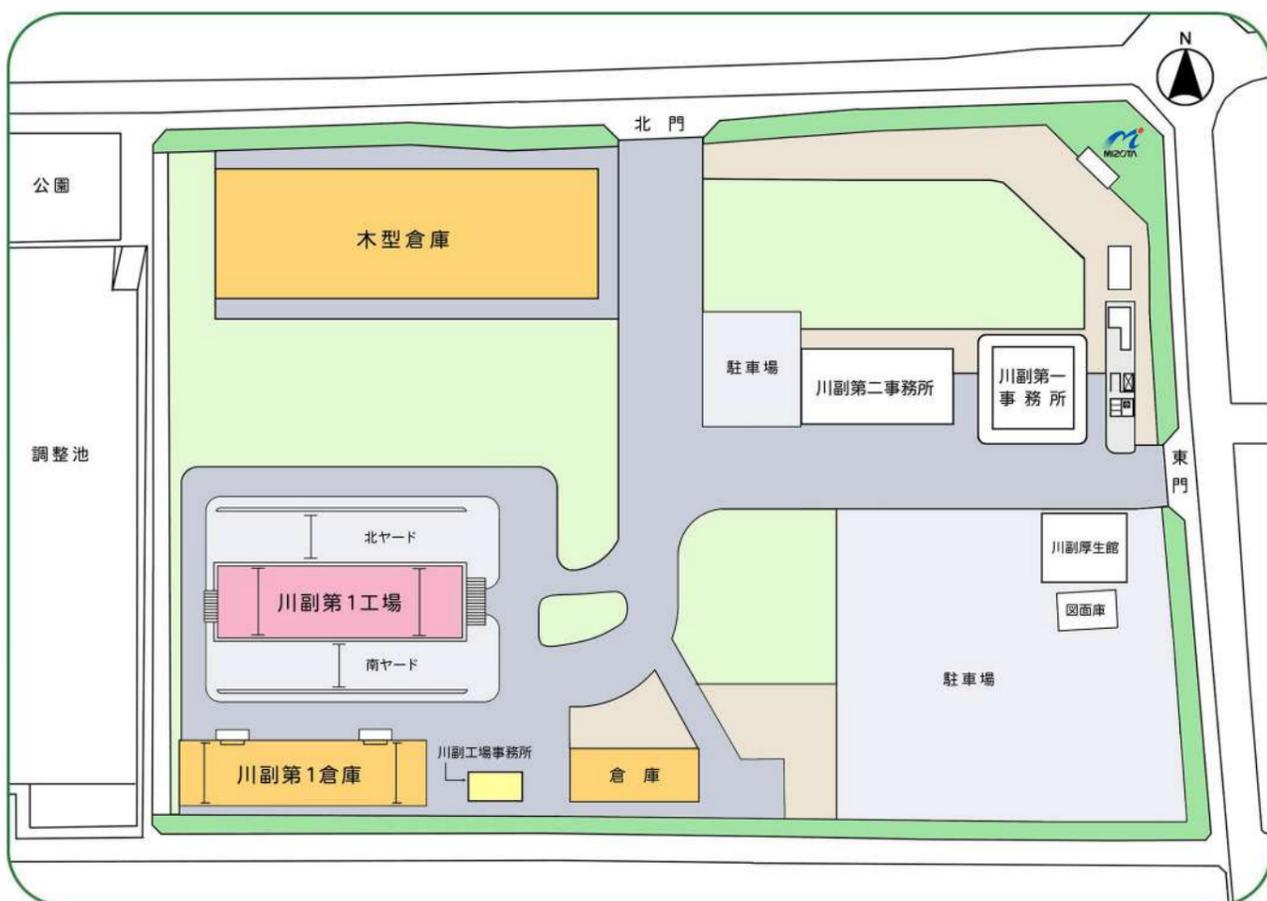
▲ 川副工場全景



▲ 川副第一・第二事務所

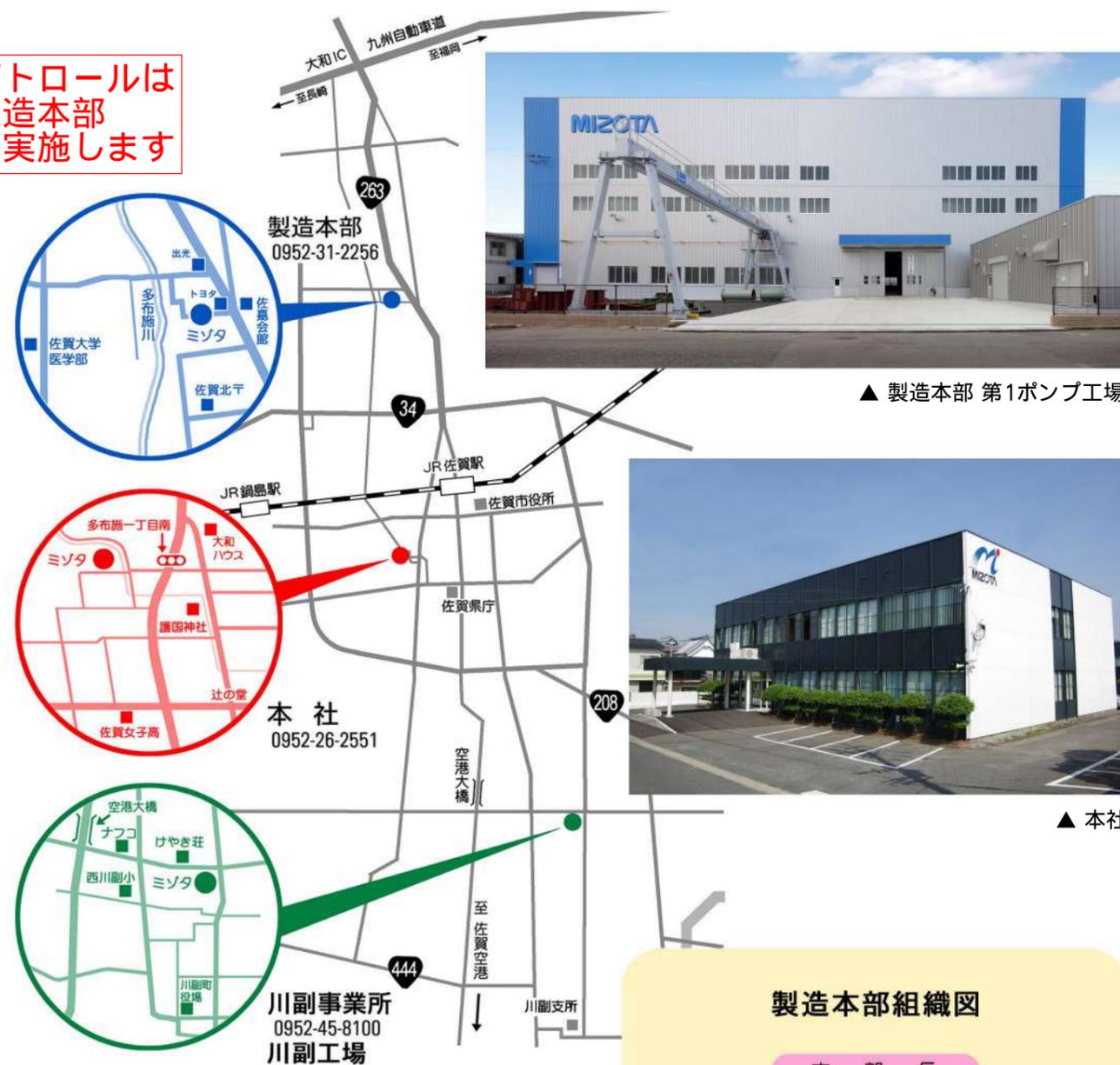


▲ 木型倉庫



事業所ご案内

局長パトロールは
製造本部
のみで実施します



▲ 製造本部 第1ポンプ工場

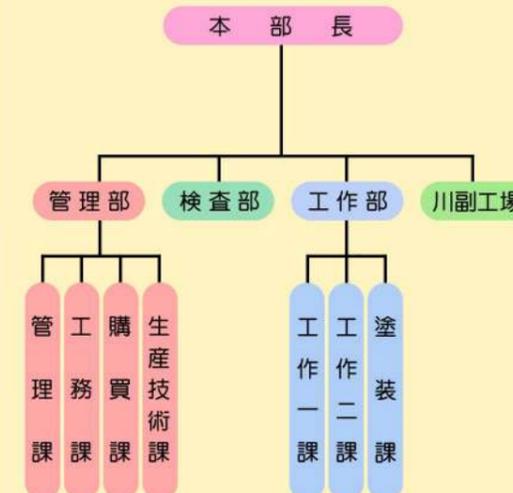


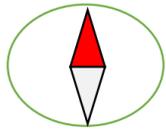
▲ 本社



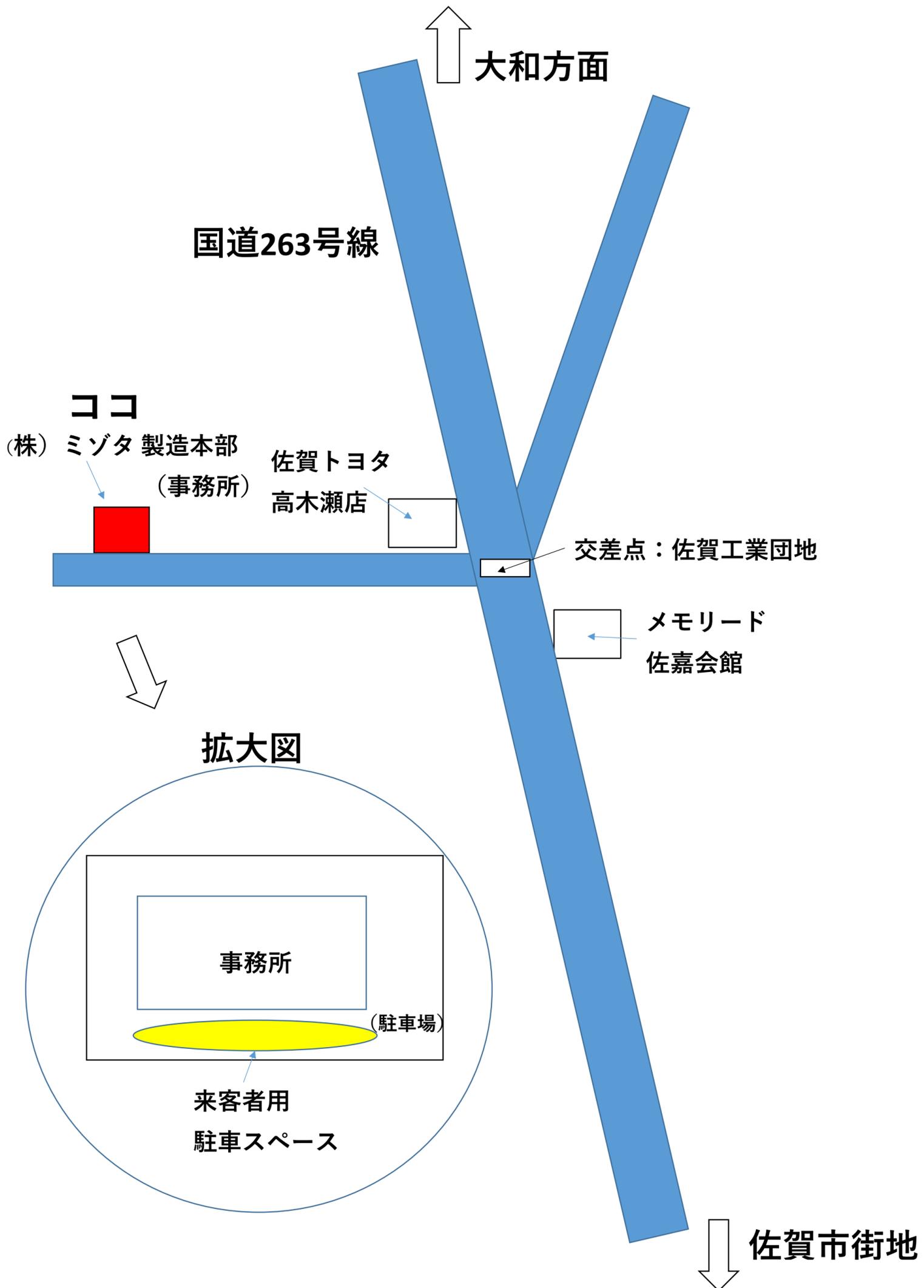
▲ 川副事業所

製造本部組織図





案内図



令和5年度 全国安全週間 佐賀労働局長メッセージ

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、これまで一度も中断することなく続けられ、今年で96回目を迎えます。

昨年（令和4年）の佐賀県内における労働災害発生状況は、死亡災害は4人と令和3年の6人に比べ減少となったものの、休業4日以上死傷災害については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3,056人と令和3年に比べ1,678人（121.8%）の大幅な増加となりました。（新型コロナウイルスによるり患を除くと、令和4年の休業4日以上死傷災害は1,231人と令和3年に比べ13人（-1.0%）の減少）

このような状況も踏まえ、本年度を初年度とする佐賀労働局第14次労働災害防止推進計画においては、従来の業種別の取組に加え、労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策や高年齢労働者、外国人労働者の労働災害防止対策といった業種横断的な対策に取り組むことで、近年における労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、労働災害を減少に転じさせることとしています。

以上のことから、すべての働く方が、安心して安全に働ける職場の実現を目指し、令和5年度全国安全週間は、

「 高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場 」

をスローガンとして、7月1日から7月7日まで展開します。

各事業場におかれましては、全国安全週間及び準備期間（6月1日から6月30日まで）を利用し、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただくとともに、「事業場における安全衛生管理体制の確立と自主的な安全衛生活動の促進」、「労働者への安全教育の徹底」、「労使の安全意識の高揚」のほか、「令和5年度全国安全週間実施要綱」に基づき各種実施事項を取り組んでいただくことにより、より一層の安全活動の推進をお願い申し上げます。



（参考：厚生労働省報道発表資料
令和5年度「全国安全週間」）



（参考：佐賀労働局報道発表資料
第14次労働災害防止計画）

佐賀労働局長 重河 真弓